

環境経営レポート



レポート対象期間：2024年3月～2025年2月

発行日：2025年4月1日

有限会社 仲沢自動車工業所

{ 1 } 事業の概要

事業所名 有限会社 仲澤自動車工業所

代表取締役 仲澤 健一

所在地

本社・工場 静岡県静岡市清水区蒲原4999-13

TEL 054-388-2367

FAX 054-388-2306

創業 {自動車分解整備事業認証} 昭和38年7月

指定工場 昭和54年12月

沿革 平成4年5月 現所在地に移転

資本金 300万円

環境管理責任者 仲澤 巧

事業規模

工場敷地面積 1042㎡ 建屋床面積 302㎡

従業員数 15名 (パート含む)

事業内容 自動車修理・販売・車検・任意保険代理店・フォークリフトの年次点検
(自動車及びフォークリフト、車検、整備、販売、钣金、保険代理店)

認証登録範囲 [全社(全組織・全活動)]

環境理念

環境問題が、多くの日常生活や事業活動に起因し、環境に与える影響が重要であることを認識した上で、環境への負荷を低減し、持続可能な社会を構築していかなければならないことは、自動車整備、販売に携わる事業者として最重要課題です。

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量そして水使用量の削減に取り組みます。またエコ整備の普及促進を通じて、燃料消費向上による二酸化炭素排出量の削減や、排出ガスの清浄化により社会に貢献します。さらに省エネである低公害車の販売に努めます。

企業のあらゆる活動面で、地球環境の保全に配慮して行動します。

環境経営方針

当社は、環境理念に基づき「地球を守ろう」をスローガンに、環境との共生、調和を最重要課題として認識し、自ら責任を持ち全従業員を上げて環境負荷の低減に配慮した活動に取り組みます。

以下の「環境行動方針」を定めます。

{ 1 } 省資源、省エネルギー活動の推進

社内の整理、整頓、清潔、清掃に留意し、事業活動における電力、紙、水道等の資源や石油等の化石エネルギー使用量の削減等、環境負荷の低減に努めます。

{ 2 } エコ整備、エコ車検等の推進

自動車における燃費の向上による削減や、有害な排出ガスの削減を目指し、エコ車検{環境汚染防止整備}を強力に推進します。そのために、エコ整備の有用性についての技術やエコ整備技術の向上に努めます。

{ 3 } 車 エコドライブ等による CO₂ 削減の推進

社用車において、アイドリングストップ等によるエコドライブに徹し、環境負荷への低減を推進します。

{ 4 } リサイクルパーツの活用

リサイクルパーツの活用を積極的に推進します。

{ 5 } 廃棄物の削減、分別処理

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別処理を推進します。

{ 6 } 環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制等を遵守することを誓約します。

{ 7 } 環境経営を継続的に改善します。

改訂 2019 年 3 月 1 日
有限会社 仲澤自動車工業所
代表取締役 仲澤健一

{ 2 } 環境経営目標

2024 年度目標値

事業年度(3月～2月)

		2023 年度 (基準年度)	2024 年度 目標値比率	2024 年度 目標値
二酸化炭素排出量	K g - C O 2	24,953	98%	24,454
購入電力	K W h	29,752	98%	29,157
ガソリン使用量	リットル	3.354	98%	3,287
灯油使用量	リットル	1,482	98%	1,452
軽油使用量	リットル	819	98%	803
廃棄物排出量	m ³	9.5	98%	9.31
水 使用量	m ³	211	—	207

コメント：

- ・当社は電力及びガソリン使用量が、二酸化炭素排出量のかなりを占める。
- ・2023 年度の数値を基準とするのは今のベストと判断したためである。
- ・電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力ミライズの 2021(令和 3 年)年の
0.382 Kg-CO/KwH を使用する。

中長期目標 2023 年度を基準として、中期目標設定。 事業年度 3 月～翌年 2 月
(2023 年度以降の目標値は 2024 年度実績の現状維持にする。)

※ 下記の「23 年」とは、2023 年 3 月から 2024 年 2 月までの期間。

項目	2023 年度 (基準年度)	24 年目標 (98%)	25 年目標 (97%)	26 年目標 (96%)
二酸化炭素排出量 (Kg-CO2)	24,953	24,454	24,204	23,954
購入電力 (KwH)	29,752	29,156	28,860	28,562
ガソリン使用量 (L)	3.354	3,287	3,253	3,220
灯油 使用量 (L)	1,482	1,452	1,438	1,423
軽油 使用量 (L)	819	803	794	786
廃棄物排出量 (m3)	9.5	9.31	9.22	9.12
水 使用量 (m3)	211	207	205	203

{ 3 } 環境経営計画 [2024 年度 (2024 年 3 月 1 日～2025 年 2 月 28 日)]

計画推進責任者 仲澤 巧

(1) 二酸化炭素排出量の削減

担当

アイドリング時間の削減、急発進、急加速の禁止

社用車の効率的な運転管理の推進 (引き取り、納車の合理的な運行)

社用車、リース車の定期的なエコ整備、エコ車検の実施

昼休みの照明消灯、パソコン等は、極力待機電力とする

室内空調は、夏は $28^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ 、冬は $20^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ とする)

工場内の電力は作業しない時は OFF にし、昼休み時は動力を OFF にする

スチーム洗浄機の温水電源は使うときだけ電源を ON にし灯油の節約に努める。

昼休時のエアーコンプレッサー等の動力 OFF、代車のガソリン給油はまめに、
アイドリングストップを推進する。

(2) 水 使用量の削減

担当

事務所水使用量をこまめに節水に努める

トイレ排出量を少なく調整する

(3) 廃棄物排出量の削減 (リサイクルに関する取組)

担当

分別を徹底し、再利用、再生利用の比率をアップし、削減に努め、最終処分の削減に努める。

自動車部品(バッテリー、廃オイル等)のリサイクル利用の推進

コピー用紙の両面使用。コピー用紙を出来るだけ使用しないで、ディスプレイで見るようにする。

ダンボール、新聞紙等はリサイクルに流通する

(4) グリーン購入の推進

担当

エコマーク文房具の購入方法調査と実施

(5) その他

担当

・環境に配慮した作業方法の提案活動

一般ユーザー車のエコ点検、エコ車検の推進

・自社に関する環境関連法規の順守

社員の環境への意識向上を目指した取組の推進

{ 4 } 組織図及び実施体制

責任体制

EA 責任者 (代表者) 仲澤健一

環境管理責任者 仲澤巧

EA 事務局 仲澤巧

電力使用責任者、水使用責任者、紙使用責任者、産業廃棄物管理責任者、燃料&灯油使用責任者

代表者及び責任者の役割、責任、権限

代表者 仲澤健一

- 1 環境管理責任者の任命
- 2 環境方針の策定
- 3 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備
- 4 社内情報の外部公開可否、決定
- 5 全体の評価と見直し

環境管理責任者 仲澤巧

- 1 環境システムの確立及び実施報告
- 2 EA21 事務局の責任者として事務局運営
- 3 環境経営システムの教育、訓練の計画、実施の責任者

EA 事務局 仲澤 巧

環境管理者責任者を補佐し、構成員の全員参画による EA 2 1 の運営改善を推進する
EA 2 1 関連文書の作成、改善、保管、伝達の業務を推進する。

各部門の役割分担（責任及び権限）

整備工場		事務所
☆CO2削減	☆リサイクル品の活用 廃棄物削減、分別処理	☆省資源、省エネルギーの推進
1 エコ車検 2 エコ整備 3 節電、給油、温水器等 の管理	1 リサイクルパーツの積極的利用 2 バッテリー、バンパー、タイヤ オイル等リサイクルに流通させる。 3 ゴミの分別処理の徹底 4 整理、整頓、清掃、清潔の徹底	1 アイドリングストップ エコドライブの推進 2 節水、節電、紙消費の削減 3 グリーン購入比率UP推進

{ 5 } 1 年間の運用の結果と評価 (期間：2024 年 3 月～2025 年 2 月)

(1) 目標と結果。

		基準年 2023 年度	2024 年度 (2024 年 3 月～2025 年 2 月)		評 価	二酸化炭素	
			環境目標 A	実績 B		排出量	割合(%)
二酸化炭素排出量	kg—c o 2	24,953	24,454	25,058	×		100
電気使用量の削減	k w h	29,752	29,156	27,280	○	10,420	41.6
ガソリン使用量削減	L	3,354	3,287	3,174	○	7,363	29.4
灯油使用量削減	L	1,482	1,452	2,034	×	5,064	20.2
軽油使用量削減	L	819	803	856	×	2,208	8.8
廃棄物排出量	t	9.5	9.31	4.3	○		
水使用量削減	m3	211	207	224	×		

※ 達成度(評価) = $A \div B \times 100$

※ 購入電力の CO2 排出係数は、中部電力ミライズの 2021 年の 0.382 kg-CO2/kWh を使用した。

(2) 取組結果の評価 基準年は 2023 年度に変更した。

購入電力・ガソリン使用量・廃棄物削減については、目標値に対して達成。

二酸化炭素排出量・水使用と灯油・軽油は未達成であった。

(3) 今後の対策

- ・電力は、工場内照明を昼休み消灯を継続してゆく。
- ・ガソリン・軽油は、整備する自動車の取引、納車に関して社有車の効率的な運用や、アイドリングの低減に取り組んでいく。さらに急発進、急加速等の運転をせず、燃費向上に努めていく。
- ・灯油は、車検整備、修理等の部品の洗浄、顧客車両で汚れのひどいものをサービス洗車する。

車両洗車用洗浄機の燃料が灯油のため洗車が終わり次第すぐに洗浄機を止めるよう従業員一同に徹底するよう呼びかける。暖房にも使うので、その年の気温にも左右される。

項目	2023 年度 (基準年度)	25 年目標 (97%)	26 年目標 (96%)
二酸化炭素排出量 (Kg-CO2)	24,953	24,204	23,954
購入電力 (KwH)	29,752	28,860	28,562
ガソリン使用量 (L)	3,354	3,253	3,220
灯油 使用量 (L)	1,482	1,438	1,423
軽油 使用量 (L)	819	794	786
廃棄物排出量 (m3)	9.5	9.22	9.12
水 使用量 (M3)	211	205	203

{ 6 } 環境経営計画の取組結果と次年度の取組内容

(確認日 2025 年 2 月 27 日)

取組内容(2024 年度)		評価	2024 年度取組内容
① 二酸化炭素排出量の削減	○	全社員の協力のもと達成	継続
・全車両のエコ・ドライブの周知	○	全社員の協力のもと達成	継続
・エアコンの設定温度を夏 28℃冬 23℃に設定	○	スイッチにステッカーを張り、担当者が毎日確認を行った。	継続
・不要な照明の消灯	○	全社員徹底できた	継続
・LED 照明の導入	○	16 年度 3 月に全照明取り換え。	継続
・クールビズ・ウォームビズを推進	○	6 月からクールビズ、1 2 月からウォームビズを実施	継続
・低排出車両の購入の検討	○	現行車両の走行距離とまだ年式が新しいため、実施せず	継続、走行距離が 10 万キロを超えた段階で検討する
② 水使用量の削減	○	業務量の増加に伴い使用量増加	節水の徹底
・洗車時の節水		洗車用水の増加	同上
・水漏れ点検の実施		毎月点検を実施	継続
③ 廃棄物排出量の削減	○	業務量の増加に伴い排出量増加	リサイクル可能物の分別徹底
・コピー用紙の両面使用	○	全社員徹底できた	継続
・段ボール等紙類のリサイクル	○	全社員徹底できた	継続
④ グリーン購入の推進	○	グリーン商品・リビルト品の優先購入の徹底を図る	継続
⑤外部コミュニケーション	△	顧客にガソリン使用の節約を呼びかける	継続

{6-1} 次年度の環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減

アイドリング時間の削減、急発進、急加速の禁止

社用車の効率的な運転管理の推進 (引き取り、納車の合理的な運行)

社用車、リース車の定期的なエコ整備、エコ車検の実施

昼休みの照明消灯、パソコン等は、極力待機電力とする

室内空調は、夏は $28^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ 、冬は $20^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ とする　　)

工場内の電力は作業しない時はOFFにし、昼休み時は動力をOFFにする

スチーム洗浄機の温水電源は使うときだけ電源をONにし灯油の節約に努めた

(2) 水 使用量の削減

車両洗車ホース先端に、節水のためにストップノズルを取り付ける

事務所水使用量をこまめに節水に努める

トイレ排出量を少なく調整する

(3) 廃棄物排出量の削減　(リサイクルに関する取組)

分別を徹底し、再利用、再生利用の比率をアップと共に。削減に努め、最終処分に
回る分の削減に努める

コピー用紙の両面使用。

ダンボール、新聞紙等はリサイクルに流通する

自動車部品のリサイクル利用の推進

コピー用紙を出来るだけ使用しないで、ディスプレイで見るようにする。

バッテリー、廃オイル、等はリサイクルに流通する

(4) グリーン購入の推進

エコマーク文房具の購入方法調査と実施

リビルト品の使用推進

(5) その他

環境に配慮した作業方法の提案活動

一般ユーザー車のエコ点検、エコ車検の推進

自社に関する環境関連法規の順守

社員の環境への意識向上を目指した取

{ 7 } 環境関連法規等

1. 環境関連法規等の遵守状況

(1) 最新版の確認

EA21 中央の HP 及び 審査人に問い合わせ。

(2) 評価

下表

確認者 仲澤 巧 2025 年 2 月 27 日

法規 制の名称	該当する法規制内容	該当設備 項目	届出報告先	遵守評価 評価項目	評価
廃棄物処理法	(一般廃棄物) 一般廃棄物収集業者許可確認 (産業廃棄物) 収集運搬処分業者との契約 処理基準の遵守 保管基準の遵守 60cm×60cm 以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理 産廃管理票交付等状況報告	紙屑、木屑 その他 汚泥 廃プラ、鉄屑、 廃グリス	無 マニフェスト管理 マニフェスト管理 市知事	静岡市 契約書, 許可書 年 1 回	○
産業廃棄物の適 正処理 に関する静岡市 条例	産業廃棄物管理責任者の設置 委託先の実地確認	年 1 回		5 年間 記録保存	○
自動車リサイク ル法	解体業者への適正な引渡し	引取自動車	業者と契約		—
道路運送車両法	自動車整備士資格 自動車整備基準の遵守	整備工場	国土交通省	認定書	○
浄化槽法	浄化槽の設置、変更の届出 法定点検の実施	分離方式	新設。変更	保守管理 法定検査	○
騒音、振動の地 方条例	特定施設の届出 規制基準の遵守	空気圧縮機 送排風機 3.75kW 以上	新設。変更		非 該 当
フロン排出抑制 法	フロン類の適正な処理 回収、破壊の工程確認	自動車	静岡県知事	引取証書	—
消防法	火災予防、流出防止	火災予防 少量危険物	消火器設置 消防署届出		○ —

2. 環境関連法規制等への違反、訴訟の有無

関係当局・近所よりの違反・クレーム等の指摘は、過去 3 年間ありません。

{8} 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直しの指示	全体評価、コメント (環境経営システムの 有効性、環境への取組 の 適切性等)	省エネ対策を強化したが、二酸化炭素排出量については目標を未達でした。この結果により二酸化炭素を徐々に削減する。 電力は、業務量の増加に伴い増加傾向になっているが、目標は達成となった。	
	見直し項目	変更の 必要性	変更「有」の場合の指示事項等
	環境方針	有・無	
	環境目標、計画	有・無	
	環境活動計画と 取り組み項目	有・無	
	環境に関する組織	有・無	
	その他のシステム 要素	有・無	

目標未達成のについては目標達成に向けた取組を強化すること。
電気、ガソリン、水、軽油は引き続き取り組みを強化する。

評価日：2025 年 3 月 27 日

評価者：仲澤 巧

有限会社 仲澤自動車工業所

代表取締役

仲澤 健一